

リウマチ通信

臨時号

2020年5月号

リウマチ疾患と新型コロナウイルス感染症

みなさんこんにちは！

今年のゴールデンウィークは、緊急事態宣言をうけて不要不急の外出が自粛されましたね。皆さんいかがお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルス感染症では、基礎疾患があると感染のリスクが高いといわれていますので、受診中の皆さんはご心配されていると思います。現時点では、リウマチの患者さんが、新型コロナウイルスに特にかかりやすいとか、重症化しやすいという報告はありません。

リウマチは継続的な治療が必要です。下記を参考にさせていただき、ご心配な場合はご相談ください。

感染症が疑われない時

リウマチの症状が悪化してしまう可能性がありますので、現在処方されている薬は引き続き服用してください。

不要不急の外出は避けるべきですが、定期診察は勝手に休まず主治医の先生と相談しましょう（当院は電話再診を承っております・詳細は受付スタッフへお尋ねください）

◎生物学的製剤で点滴製剤から皮下注射製剤への変更をすることで、自己注射に移行されれば、通院回数を減らすことができます。詳細は医師または看護師にお尋ねください。

リウマチの患者さんは手指の変形や痛みに注意して手を十分に洗いましょう！

感染症が疑われる症状が出たとき

重症になる可能性は否定できません。また、自己判断で服用をやめてしまうことも危険ですので必ず主治医の先生に相談しましょう。

「風邪の症状」や、「発熱」がある場合

「強いたるさ」や、「息苦しさ」がある場合

「嗅覚や味覚障害」が出現した場合等、感染を疑う症状に注意です

◎感染してしまった場合、治療薬についてどうするか、あらかじめ主治医の先生と相談しておくのもよいでしょう。

(文責 看護師 増子 文子)

